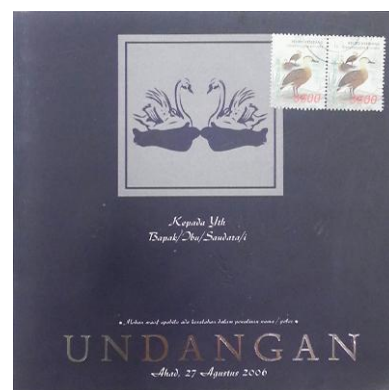


インドネシアの結婚披露宴

インドネシアには 17,000 以上の島々が点在し、その中に 300 以上の異なる民族・文化があると言われ、また国から認められている宗教が 5 つもあります。日本でも地域によって結婚式のスタイルは異なりますが、インドネシアは民族・文化・習慣が多様であるため、結婚式の形式も日本以上に様々です。最近バリ島の有名ホテルで挙式をあげる日本人も多いですが、今回は、インドネシア全体の人口の半数以上が暮らすジャワ島での、一般的な結婚披露宴がどのようなものかをご紹介します。インドネシアに駐在される方はもちろん、商談でインドネシアへ来られる方も披露宴に招待される可能性は高いでしょう。日本と比較すると気軽で格式張っていませんので、招待されたらぜひ参列してみてください。

結婚披露宴に招待される場合、日本と同様に招待状を頂くことになります。通常、本人や家族から手渡しで招待状を受け取りますが、出欠をハガキで返信するような習慣はありません。参列する場合は問題ないですが、参列できない場合はその旨を本人に伝えた方がいいでしょう。

さて、結婚披露宴に参列することが決まると、祝儀や衣装などの準備が必要です。一般的に男性はバティック、女性はクバヤという伝統衣装を着ます。最近では、男性はスーツ、女性はドレスを着ている場合も見受けられます。日本人が参列する場合は、伝統衣装を着るのも良いですし、日本の着物を着ていくことも喜ばれると思います。



招待状

カラフルでサイズも自由です



女性の伝統衣装 クバヤ



男性の伝統衣装 バティック

また、日本では考えられませんが、招待された本人以外に、家族や友人を連れていっても問題ありません。例えば、奥様やお子様と一緒に参列しても歓迎されます。参加者側としては、ひとりで参加するより心強いですが、主催者側は招待状を出した人数の2倍～3倍の食事を準備する必要があるため費用がかかり大変です。招待状をもらった人で参列できない場合は、参加できない旨を伝えた方がいいと前述しましたが、実際は事前に言わない人も多いため、主催者側を悩ませます。

祝儀は、参列する人の立場にもよりますが、5万ルピアから20万ルピア（500円から2,000円）程度を封筒に包んで持って行きます。4の数字を嫌がる民族もいます。封筒はどんなものでもよく、あまり気を遣う必要はありません。会場に入ると、受付がありそこで記帳します。受付には通常、大きめの箱が置いてあり、そこに祝儀を入れます。祝儀は無記名の場合も多く、封筒に入れず現金をそのまま入れる場合もあります。



受付 右端が祝儀を入れる箱



buffet形式の昼食

結婚式の会場は、一般的な家庭の場合は新婦の実家で開催することが多いですが、都市部の富裕層は結婚式場やホテルで行う場合もあります。午前中に結婚式、午後から披露宴を行うことが多く、そのあたりは日本と同じです。日本人が招待される場合、披露宴から参加することが多いと思いますが、招待状に記載された開始時間より少し遅れて参加しても大丈夫です。

受付を済ませると、buffet形式の昼食が準備されていますので、自由に食事をします。ただし、ご存じのとおりイスラム教徒の結婚式の場合、アルコールは用意されません。

さて、新郎新婦はというと、会場前方に舞台が設置されており、そこに各々の両親と一緒に立っています。披露宴が開始され、頃良い時間にアナウンスが流れ、参列者が順番に舞台に進み、新郎新婦と両親にお祝いの言葉を述べていきます。「ご結婚おめでとうございます（スラムット ムヌンプー ヒドゥップ バル）」などの簡単な挨拶でよく、また記念写真を撮る場合は、この時に撮影します。参列者は、日本人の想像を絶する程多く、少なくとも300人、多い場合は1,000人を超えます。そのため、挨拶の列は長く、早くゆっくりしたい場合は、早めに列に並んだ方がいいでしょう。

挨拶を終え、帰ることを新郎新婦に伝えれば、披露宴が終わる前に帰っても問題ありません。日本の場合は、時間が決められており、最後までいるのがマナーですが、インドネシアの場合は自由解散になります。帰る際には、キーホルダーやマグカップなどの引き出物をもらうことができます。



新郎新婦と両親 (バンドン地区)



新郎新婦と親族 (スラバヤ地区)

結婚披露宴に参列することは、商談相手や現地スタッフとの距離を縮める良い機会です。例えば、商談相手の子供の結婚披露宴の招待状をもらったなら、ぜひ参加してみてください。きっと商談は成功するはずです。

以上

<これまでの岡山県インドネシアビジネスサポートデスクレポートは[こちら](#)から>

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク (PT. JC内) 概要★

所在地：WISMA NUSANTARA BUILDING 24th Floor

Jl. M. H Thamrin Kav 59 Jakarta Pusat Indonesia 10350

デスク担当者：PT.JC 武井 和宏 (たけい かずひろ)

対象エリア：インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています(岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託)。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。また、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#) (電話 086-226-7365) までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応していません。